



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2014年12月号



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「人は一人じゃない」

小原 里帆 (盛岡YMCAリーダーOG : ほたて)

こんにちは。社会人3年目の小原里帆です。リーダー名は「ほたて」です。

2014年11月1日に入籍、11月3日に結婚式を挙げました。その結婚式の準備の中でプロフィールムービーを作りました。それは今までの人生を振り返るきっかけとなりました。

4歳の時ピアノを始めました。その理由は、いとこと一緒に始めたからでした。小学生4年生から中学3年生までそろばん習いました。中学3年生まで続けられたのは、一緒に通う学校の友達がいたからでした。小学4年生から始めた小学校の課外活動のマーチングバンドは、寒い冬も体育館を靴下で練習をするなど辛いこともありましたが、続けられたのは励まし合える仲間がいたからでした。盛岡YMCAで活動することになったきっかけは、高校から一緒に大学の友人の誘いでした。大学1年生の10月に、私が子供が好きだからという理由で誘ってくれました。初めての活動は内丸教会で料理をしました。その時、子供たちと遊ぶのももちろん楽しかったのですが、先輩リーダーたちの周りへの気遣い、優しさを感じ、こんな人になりたいと思ったことでした。大学2年生で初めて夏のキャンプに参加するにも関わらず、メインのリーダーを任された時にはき

ちんと努めなければというプレッシャーを感じて、固くなってしまっていました。でも、先輩がそんな私に気が付いて、たくさん話を聞いてくれたりアドバイスをくれたりして、楽しいキャンプにすることができました。

人生の中で周りの人とうまく仲良くできずに、孤独を感じたこともありました。しかし、振り返ると私は、周りの人がいたおかげで今まで生きて来られたのだと実感しました。

きっと皆さんの周りにも今まで支えてきてくれた人や、一緒に頑張ってきた人がいるはずです。孤独を感じた時、逃げ出したくなかった時、振り返ってみるともう一度頑張ることができると思います。

そんな仲間や友達、先輩、家族などを大切にしてください。

→
ほたてリーダーの旦那様はリーダーOBの小原光史さん(うちのリーダー:通称つっちー)です!
とても素敵な結婚式でした。
ふたり仲良く、いつまでも幸せに。



今月のYMCAニュースは、3回目の開催になる「盛岡YMCAチャンピオンズカップ」、11月森のようちえん「動物のお世話をしようふれあいキッズ☆」、11月サンデースクール「クレープ作り」、富士山YMCAで行われた「第45回全国YMCAリーダー研修会報告」、そして、宮古ボランティアセンター活動報告をしていきます。子どもたちの様々な表情からもわかるように、活動の中でたくさんを感じてくれているというのはとても嬉しいことです。リーダーたちの文面とともにその様子をご覧ください。

第3回 盛岡YMCAチャンピオンズカップ!!

私たち盛岡YMCAのサッカースクールでは、サッカーを通して「自分を大切にすること」「仲間を大切にすること」を子どもたちと共に学んでいます。また、毎週のサッカースクールで、子どもたちがサッカーを通してつながり、そのつながりの中で様々なことに気づき、スタッフ、リーダーと一緒に成長してきました。11月2日(日)、岩手県立大学にて第3回盛岡YMCAチャンピオンズカップが開催されました。66名の子どもたち、6名のリーダー、5名のスタッフが参加した今回の大会ですが、学年に関わらずどのチームの子どもたちも、チームで集まり、どうしたら勝てるのか、どうしたらもっと楽しくなるかなど、試合をするごとに自分たちでチームの課題を考え、話し合い、相談している場面が多く観られました。もちろんその輪の中にリーダーやスタッフも入りますが、子どもたちが自然と集まり、考え、自分の意見を言い、仲間の意見に耳を傾け受け入れている姿は、日頃の

練習で「自分を大切にすること」「仲間を大切にすること」を子どもたちと共に学び、積み重ねてきた成果だと感じることができました。そして、「止める、蹴る、運ぶ」といった基本的なサッカーの技術の成長ももちろん感じることができました。一人ひとり成長のスピードは違いますが、子どもたち一人ひとりがサッカーを通して「やればできる!」といった自信を持つことができ、自分や仲間のいいところをたくさん見つけることができる、そしてそれを伝えることができる、そんなサッカースクールをこれからも子どもたちと共に一歩一歩しっかりと毎回の練習を積み重ねていながら創っていったらと思います。盛岡はこれから寒く長い冬に入りますが、変わらず元気いっぱい子どもたちと一緒に楽しんでいきます!

盛岡YMCA

伊藤 真太郎



胸に手を当て、みんな
で開会宣言!
←



← 低学年も白熱した試合
を見せてくださいました。



11月 森のようちえん ♪ 動物のお世話をしよう ♪ ☆ ふれあいキッズ ☆



こんにちは!安久津里彩です。リーダー名はあさりです!11月16日(日)の森のようちえんでは、盛岡市動物公園に行ってきました。男の子グループと女の子グループに分かれて、どちらがたくさん動物を見つけられるか勝負しながら楽しく回りました。動物とのふれあいタイムでは、ヒヨコとウサギとふれあい、動物たちのかわいいところを見つけたり、また動物と接する態度から子どもたちの優しい心を感じました。寒さに負けず、子供たちと一日中楽しく活動することができました!ありがとうございます!

次回の森のようちえんは1月17日(土)です。寒さなんか吹き飛ばし、雪にまみれてまた元気いっぱいのみんなと遊べることをリーダー達は楽しみに待っています!お友達をたくさん誘ってみなで遊ぼうね☆

盛岡大学児童教育学科2年
安久津 里彩 (あさりリーダー)



11月サンデースクール ♡ クレープづくり ♡



こんにちは!浜田真美です。リーダー名はモモンガです!11月のサンデースクールでは、みんなでオリジナルのクレープを仲良く材料を分けながら作りました。私も一緒に作業しながら、みんなはどんなクレープを作るのかとっても楽しみでした。みんなのクレープがとってもおいしそうで、味見をしたくなってしまう!お店に売っていきそうな生クリームたっぷりのクレープやピザ風のクレープ、ハムやフルーツ、クリームなどある材料を全て巻いた新しい味を発見出来そうなクレープがありました!今回の活動では、分担し作業を進め、仲良く材料を分けながら、こだわりのトッピングをする姿が見られました。みんなクレープ王になれたのではないかと思います。

次回のサンデースクールは少し間があき2月1日です!みんなの手でお弁当にマジックをかけてみませんか?ごはんやウィンナーを変身させて、楽しいお弁当を作りましょう!みんなの参加待ってます!

盛岡大学児童教育学部1年
浜田 真美 (モモンガリーダー)



～第45回全国YMCAリーダー研修会報告～

11月1日から11月3日まで富士山YMCAで行われた第45回全国YMCAリーダー研修会へ参加してきました。今回のテーマは「担い手として自らが気づき、考え、自ら動く」ということで全国のYMCAから集まってきたリーダーたちが3日間を気づき、考え、動くというテーマで作りに上げていきました。まず、初日は小川哲史さんという写真家の方の講演を聴き、グループディスカッションで小川さんの話を聞いて考えたことを共有することから始まりました。東日本大震災で被災した福島県の人々について考え、自分たちにはYMCAのリーダーとしてなにが出来るのかなど話し合いました。2日目は1日目の夜に自分が興味を持った社会問題についてグループ毎に分かれて問題の明確化、原因分析、行動計画を行い、夕方にはポスターセッションで各グループの発表を見ました。そこで自分たちで考えたことを他の人に見てもらい、意見をもらって考えを深めていきました。夜には交流の時間として参加者全員でキャンプファイヤーをしました！火の女王が出てきたり猛獣を狩りに行ったりと初めて会い、初めて話したリーダーたち

と楽しい時間を一緒に過ごせるのはとても素敵なことだと感じました。最終日は2日目にグループで行った行動計画を実際に行動してみるという“自ら動く”というプログラムでした。僕のグループは環境問題について考え、ポスターを作るという行動計画を立て、実際に作ってきました。

3日間を通して、グループで話し合いをして自分たちで作りに上げていく楽しさと難しさを感じました。盛岡YMCAで感じたことのない考え方をしている人やそれぞれのYMCAでの話を聞いてとっても勉強になりました！YMCAで活動を今後も続けていくにあたって、他のボランティアなどの団体ではなくYMCAで活動していることの意味を考えて盛岡YMCAにしか出来ないことをしたいと思いました！仲間を大切に、時間を有効にこれからも楽しく活動出来ればと思います！

盛岡大学児童教育学科3年

向平 悟 (ジープンリーダー)



↑ 3日目の自ら動くということでポスターを作りました。



↑ 笑顔！元気！繋がろう！富士山！！



↑ 真っ青な空の下、堂々とそびえる富士山

3日間を締めくくると晴れ空の下、富士山をバックに集合写真を撮るパシャリ！



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 11月報告書

雪の便りがあちらこちらから届いていきます。宮古も気温が下がりがよいよ冬到来の季節となりました。紅葉も終わりを迎え冬支度のはじまりです。

さて、11月1日(土)に行われましたイワナの採卵ですが、子どもたち、そしてリーダーたちにとっても貴重な体験となりました。参加者は6名と少なかったのですが普段は見ること、経験することの出来ない、採卵、受精までの工程を自分たちの手で行うことが出来たことに大きな喜びを感じていました。また、川を覗き込むと、自然の中で行われている産卵の風景も見ることが出来ました。これには、閉伊川漁協のみなさんや閉伊川大学、そして、東京海洋大学の関係者の方々の協力があったの事。本当に感謝いたします。

山、川、海を守るために日々努力されているみなさんの活躍があってこそ出来る貴重な体験でした。昨年はヤマメの採卵を体験しましたが、全国的にもこの宮古の地でのみの試みのようです。私たちの生活の中で水の大切さ、生き物に対する感謝を忘れることなく生活する必要があります。皆さんも日々の生活の中で少しでも心にとめ考えることを願っております。自然を大切に。それが私たちの生活の中で、生きていく上で大切なことであることを忘れないようにしていきましょう。

宮古ボランティアセンターセンター長
齋藤 勉



宮古での活動実績

(10月末日のべ人数)

☆受益者数 81, 197人

☆ボランティア数 32, 192人



↑ 漁協の関係者のお手伝いをいただきながらの子どもたちの体験風景です。

12月・1月の予定

- ★12月7日(日)、14日(日)
10:00~11:00
キャンプ説明会
(於: アイーナ6F 団体活動室3)
- ★12月14日(日) 13:00~16:00
ファミリークリスマス
(於: アイーナ8F 研修室812)
- ★12月26日(金)~29日(月)
エンジョイスキーキャンプ
(於: 八幡平リゾートスキー場)
- ★12月27日(土)~29日(月)
ジュニアスキーキャンプ
(於: 八幡平リゾートスキー場)
- ★1月5日(月)~8日(木)
宮古スキーキャンプ
(於: 田沢湖スキー場)
- ★1月10日(土)~12日(月・祝)
田沢湖雪っこキャンプ
(於: 秋田県 山麓荘)
- ★1月17日(土)
1月森のようちえん
「冬だ!遊ぼう♪
ばわふるキッズ☆」
(於: 小鹿公園)
- ★1月18日(日)・25日(日)
1月アドベンチャー
「日帰りスキーツアー」
(於: 八幡平リゾートスキー場)

○YMCA休館日○
12月30日(火)~1月4日(日)

表紙の写真から



11月2日(日)に行われた「第3回盛岡YMCAチャンピオンズカップ」での1枚。体を張って相手とぶつかり、子どもたちの闘志全開。迫力と勢いがあり、見ていると楽しい試合でした。
(11月2日 県立大学グラウンド)



君でいいんだよ ~JUST THE WAY "YOU"ARE⑥~

「サクラマスの話」



クリスマスの季節にサクラマスの話というのはいかがなものかと思いましたが、しばし、おつきあい下さい。

先月、閉伊川漁業共同組合の養魚場に行ってきました。盛岡YMCA宮古ボランティアセンターでは、「宮古を愛する子どもたちの育成事業」の一環で、宮古の子どもたちを対象に月例の自然体験活動を行っています。今回は、閉伊川漁業共同組合、閉伊川大学校、東京海洋大学の皆様のご協力で、イワナの採卵体験をすることができました。(当初は、サクラマスの予定でした。)

さて、皆さんサクラマスとヤマメの違いがわかりますか? 簡単に言うと一生川の上流で暮らすのがヤマメで、海へ下って行くのがサクラマスです。同じ種類の魚なのに見た目には随分違います。ヤマメは、大きくて20センチ程度ですが、海に下るサクラマスは、全長70センチに達するものもあります。なかには、サクメみたいに鼻が曲がってきて、かなりいかつい形相をしている個体もあります。

組合の理事の方に聞いたお話ですが、実はこの勇ましい姿のサクラマスは、幼魚の時点では、エサにありつけない弱い個体だそうです。川での生

存競争に勝ち残れない幼魚たちは、海に下り成熟し、やがてたくましい姿になって生まれた川に戻ってくるのです。

そう言えばヒトも樹上で生活していた弱い個体がその場所を追われてサルから進化したと言われています。偉人伝などを読んで、子供の頃、身体が弱かったり、いじめられていたり、結構「弱い」と言われる人がその後、大きな業績を残していることに気がきます。「弱い」ということは、決して嬉しいことではありません。できれば「強い」にこしたことはありません。自分の弱さ、いたらなさを受け入れられたら良いのですが、これがけっこう難しく、かなり勇気がいるものだと思います。なにしろ、私たちは「ミエ」や「面子」「はったり」など、自分の周りに強固な柵を何重にもめぐらして生きているのですから。

今から、約2000年前、ユダヤの片田舎のベツレヘムにイエス・キリストが誕生しました。新約聖書からその後のイエスの生き方を学んでいきますと、「あなたでいいんですよ。ありのままのあなたで良いのですよ。」というメッセージをその生涯を通じて一貫して伝えて行ったことに気がかされます。自分の「弱さ」を受け入れられず、自分自身が嫌になったり、将来に不安になったりしている私たちにとって、大げさに言えば人類にとって「君でいいんだよ」というメッセージは歴史上、最高、最大のプレゼントなのかも知れません。

盛岡YMCA総理事 濱塚有史

… 国際協力街頭募金 …

2014年11月24日(月)盛岡YMCAで国際協力街頭募金活動を行いました。今年度は、ワイズメンズクラブ、ボランティアリーダー、YMCA各活動の会員の子も達、スタッフ合わせて総勢35名でパルクアベニュー川徳前、nanak前、クロステラス盛岡前、大通り安全十字路の4か所に分かれての募金活動となりました。中でも、全体の半分以上となる18名の子も達が参加してくれ、元気な呼びかけで市民の皆さんに想いを伝えてくれました。

今回集まった市民の方々からの募金は124,406円でした。この募金は、日本YMCA同盟を通して、各国・各地域で支援を必要としているの方々のため充てさせていただきます。今回の街頭募金活動に携わって下さった全ての方々、本当に有難うございました。また、盛岡YMCAでは、今後も国際協力募金という形で国際支援活動を行っていきます。皆さまのご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

国際協力担当 小川 嘉文



↑ 小さなお子さんには、子どもたち自らが折った折り紙をプレゼントしていました。



感謝

(2014年度11月30日現在)
不同・敬称略

●維持会費

今野聖子、今野健男、角谷晋次、角谷千代子、光永尚生、朴正浩、濱塚有史、濱塚真美、井上修三、井上浩太郎、井上優子、伊藤克見、大関靖二、工藤直子、佐藤翔、川坂保宏、及川茂夫、及川恵、名古屋恒彦、熊谷川實、株興和電、南原良哉、一田村治之、水田賢次、南原良哉、戸貞文、小関悦子、阿部靖、川守田浩、金田節子、金野東輝子、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、押切梓、岡田虎治、伊藤真太郎、伊藤愛美、及川、忠人、重石桂司、伊藤真一郎、清水治彦、高瀬稔彦、長岡正彦、清水治彦、中屋重正、古澤伸、鶴丹谷三千代、小林茂元、吉崎陽、小川嘉文、小川明佑、神田橋慧一、菊地弘生、今松桂子、木田泰之、千葉洋子

●寄附金

角谷晋次、光永尚生、朴正浩、濱塚有史、佐藤翔、及川茂夫、熊谷力實、水田賢次、南原良哉、中村恵美正、花田瞳

●東日本大震災被災地支援募金・献品

林辰也、佐々木翔一朗、佐々木朗人、港凱理、岩井和己、学校法人広島YMCA学園、小畑孝子、日本キリスト教団内丸教会、NPO法人茨城YMCA、吉崎陽、捜真小学校、木田泰之、エニチャリティコンサート実行委員会、木村協子

●国際協力募金

中条和哉、岩井和己、大関靖二、岡田虎治、熊谷圭祐、伊藤真一郎、フジクリーン岩手、濱塚秋二、濱塚れい子、鶴丹谷三千代、魚住英昭、増田隆、今松桂子、熊谷太、濱塚有史、盛岡チャペル、早坂明、鬼柳忠夫、上中優奈、杉田弘美、小笠原邦夫、山崎詩織、長岡明日海